

図2.14 多摩川【漁業権設定・魚類等放流状況】

漁業権設定状況：東京都資料・神奈川県資料・山梨県資料より
 平成16年度実績放流量：環境省調査(東京都・川崎河川漁業協同組合への平成17年度ヒアリング調査)、山梨県漁連資料より



表 2 . 3 多摩川の魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果の整理

対象ゾーン	流域全般	下流	上流
魚介類の生息に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 「資料」の出現魚種で概ね妥当。 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線鉄橋下の砂礫域で少量のアユが一時的に生息しているとの情報がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ウグイ・カジカ・アユ等が中心。 ウナギ・ヨシノボリ・シマドジョウが増加。 ニジマスは羽村堰より上流の本流で確認した。
再生産に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> アユの産卵場所がある。 アユ・ウグイ・カジカ等の産卵床保全等積極的な方向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> アユの産卵場所はいくつかあり、二子玉川上流域で良く産卵している（昭和 59-62 年調査で確認。今年度も二子玉川等にて産卵場所調査実施予定）した。 	<ul style="list-style-type: none"> アユは放流以外に今後産卵場等保全の取組み考える方向にある。 ウグイの人工産卵床を毎年本流に設置している（睦橋上流）。 平成 10 年度頃よりヤマメ発眼卵埋設放流実施している（氷川・奥多摩漁協等）。 秋川漁協にてカジカ保全計画あり。
放流に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 遊魚対象魚種*のほとんどが放流魚である。 		<ul style="list-style-type: none"> アユ・ヤマメ・ニジマス・コイ・フナを放流している。
河川環境に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 近年、水質は良くなっている。 堰が多いため近年魚道整備が進んでいる。しかし、魚道利用・効果が今後の課題である。 堰、取水施設、下水処理場が魚類の生息環境に影響するものと考えられる。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> アユは昭和 60 年以降変動あるものの、増加傾向にある（平成 14 年春には推定 100 万尾遡上）。 		

遊魚対象魚種*：アユ・ニジマス・ヤマメ・コイ・フナ・ウグイ・オイカワ・ウナギ

環境省調査（秋川漁業協同組合、東京都産業労働局水産試験場への平成 16 年度ヒアリング調査）

表2.4 淡水域(多摩川)における魚類等生息状況の変遷

	年代							増減方向	増減の理由	場所
	1940	1950	1960	1970	1980	1990	1998			
アブラハヤ							→	増加	小河内ダム表面放流後(1992~)	奥多摩
アユ							→	成長良好	小河内ダム表面放流後(1994~)	奥多摩
ウグイ							→	増加	ダムによる流量安定(1993・1994~)	奥多摩・多摩川
オイカワ							→	増加	1995年~	多摩川
コイ						?	→	増加	放流による増加	秋川
タモロコ			→	→	→	→	→	増加(急増)	1962-1963年~	多摩川
マルタ							→	増加	近年回復傾向	多摩川
モツゴ			→	→	→	→	→	増加(急増)	1962-1963年~	多摩川
アメリカザリガニ			→	→	→	→	→	増加	汚濁し始めた頃~	多摩川
イトミミズ							→	増加	近年増加傾向	多摩川
ドロムシ?							→	増加	近年増加傾向	奥多摩
シロタニガワカゲロウ							→	増加	1993・1994~	多摩川
モエビ							→	増加	近年増加傾向	多摩川
モクスガニ							→	増加	近年増加傾向	多摩川
ユスリカ							→	増加	近年増加傾向	奥多摩
ウナギ			→	→	→	→	→	減少	ダム完成後ダム冷水影響、石の埋没(1957~)	奥多摩
カジカ			→	→	→	→	→	減少	石の埋没(1958~)	奥多摩・秋川
			→	→	→	→	→	減少	戦後は生息(1945~)	川口川・多摩川
カマツカ			→	→	→	→	→	減少	ダム完成後ダム冷水影響(1957~)	奥多摩
ギバチ			→	→	→	→	→	減少	ダム完成後ダム冷水影響、石の埋没(1957~)	奥多摩
シマドジョウ			→	→	→	→	→	減少	(1961~)	多摩川
タナゴ類			→	→	→	→	→	減少	戦後は生息(1945~)	川口川・奥多摩
ドジョウ						?	→	減少	護岸の泥減少	秋川
マス(サクラマス)						?	→	減少	護岸の泥減少	多摩川野毛・多摩川調布
ヤツメウナギ						?	→	減少		多摩川
カワムシ						?	→	減少	浮石の減少	奥多摩
シジミ			→	→	→	→	→	減少	戦後は生息(1945~)	川口川・多摩川
ヒゲナガカワトビケラ			→	→	→	→	→	減少	1963・1964~	多摩川

→ :増加
→ :減少

出典:東京の川の生きものと環境 - 河川水生生物総合解析調査報告書(その1) - (東京都,平成10年3月)より作成

場所() 奥多摩:多摩川羽村堰から上流

多摩川:多摩川羽村堰から下流

多摩川野毛:世田谷区野毛周辺、多摩川府中:府中市周辺

多摩川八王子:王子市周辺、多摩川調布:調布市周辺

河川が併記してあるもの:両方の河川を含んだ範囲

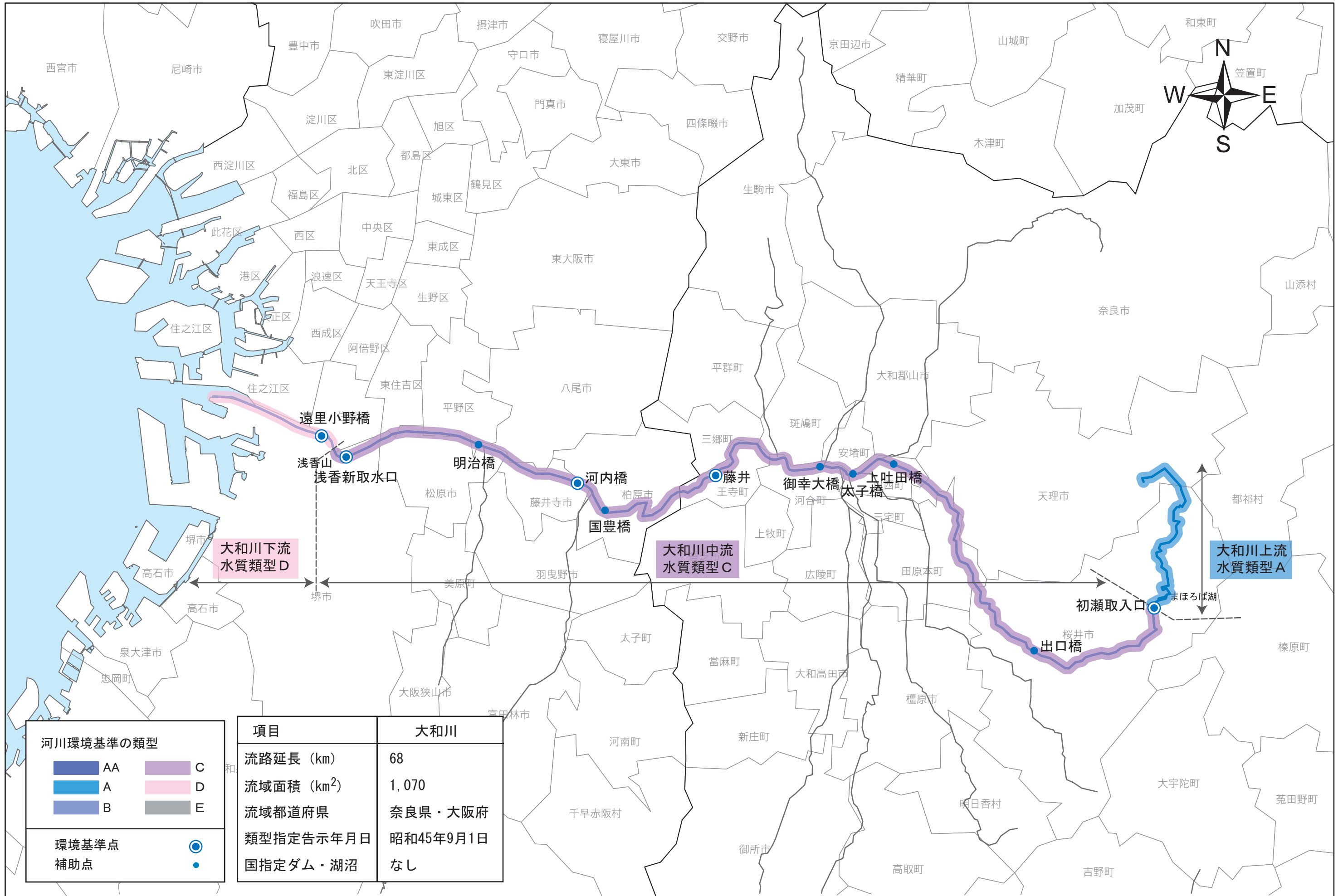


図3.1 大和川【水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況】

0 2 4 6 8 km